

ふれあい

さいせい



発行
済生会西条病院
 2013年秋号 第60号
 西条市朔日市269-1
 TEL (0897) 55-5100



済生丸進水式 撮影者：院長 岡田 眞一

ごあいさつ

副院長 石井 博

済生丸進水式に出席して

院長 岡田 眞一

Gifts ゴスペルコンサート

ポサノバライブが開催されました

医療秘書課 神原 勝己

**平成25年度 済生会学会・総会
 永年勤続表彰**

オープニングスタッフ募集中!

ピンクリボンキャンペーンについて

看護部長 大仲 道子

市民公開講座のお知らせ

ニューフェイス

ごあいさつ

副院長 石井 博



副院長
石井 博

平成25年は神宮(伊勢神宮)の式年遷宮にあたり、10月に入り遷御の儀が執り行われた。日本は世界で最も古くからある国家であり、遷宮は持統天皇の時代(690年)から20年毎に1300年以上も継続し、「常に新しい気持ちで明日に向かおう」という「常若」の精神が遷宮の基本であると言われている。日本人は天皇を始め、種々のヒト、モノに神が宿っていると考える多神教を信仰し、内宮は日本人の総氏神である天照大御神が祀られている。豊受大御神は衣食住の神で外宮に祀られており、加工された米の保存期間が20年間であるという理由で遷宮が20年毎であるとも言われている。10月17日神嘗祭では天照大御神に初穂を献上し、国家の安泰、国民の平和と五穀豊穡を天皇が祈念され、勤労感謝の日である11月23日の新嘗祭で新米を食べることができるようになる。このように日本は米を中心として成り立っている国である。TPPが導入されると価格の安い米が大量に入るが、外国を旅すると日本の米が如何に美味しいかを知ることとなる。日本にとって米は主食として大切であるのと同様に医療制度は世界に誇るべき最も良い大切な制度である。アメリカの推進する混合診療が導入されると、現在の健康保険制度で使用可能な良い薬剤や器材が使用できず、本当に良い医療が受けられなくなる可能性が高くなる。平成の遷宮の年にもう一度の日本を良く知り、「自分たちにとって守るべき大切なことが何か？」を11月23日に美味しい新米を食べ、感謝しながら良く考えようではありませんか？

濟生丸進水式に出席して

院長 岡田 眞一



院長
岡田 眞一

8月8日に神戸市の金川造船吉田工場で濟生丸4世号、通称「濟生丸100」の進水式が行われました。工場内第二船台式壇に国や岡山・広島・香川・愛媛県の関係者、炭谷濟生会理事長はじめ本部関係者約50人が参列して、「君が代」吹奏に続き、岡山濟生会岩本一壽支部業務担当理事による「第

647番船」と呼ばれていた船を「濟生丸」と命名、引き続き同支部伊原木一衛会長による支綱切断が行われました。支綱切断後新船はすみやかに海に滑り下りて行きました。その間力強い軍艦マーチが流れ、ほぼ同時に船首のくす玉と日本酒が割れ、テープと紙吹雪が舞い、ハトが飛び出しました。風向きが良かったせいか、お酒の香りも漂う感動的な出来事でした。私は写真撮影には一番いい式壇の真中にいて、デジカメで最高の写真を撮ったつもりでしたが、後で見るとくす玉が割れる瞬間が撮影できていませんでした。それでもいい写真が撮れたと思います。

濟生丸は、濟生会の創立50周年記念事業として、昭和37年に就航しました。進水式の前夜祭で昭和40年前後の1世号による濟生丸活動記録DVDの観覧があ

りました。愛媛県では佐田岬半島での診療風景です。濟生丸医療従事者が濟生丸本船から小船で陸に渡り、険しい山の中を住民と一緒に医療器具を運んでいく映像があり、今はない医療の原点を見た気がしました。現在の3世号は平成2年に就航していますが、老朽化により新船が作られることになりました。人口減少や交通アクセスの整備等により濟生丸事業が見直され、平成23年度より本部直轄事業から岡山、香川、広島、愛媛県の4県共同事業となりました。新船建造費用や運営費用が厳しい状況ですが、濟生会の使命と瀬戸内海島民の医療を考えて事業を継続する方針となりました。災害時の利用など、まだまだ必要な診療船です。

10月14日からフジテレビ系のテレビドラマで、松田翔太主演『海の上の診療所』がスタートしました。このドラマは病院船「濟生丸」をモチーフにした、病院船上での医師や看護師たちの物語を描いた番組です。興味のある方は、濟生丸をイメージしてご覧ください。濟生丸のご支援を宜しくお願い致します。



Gifts ゴスペルコンサート

平成25年9月11日に病院講堂にてゴスペルグループ「Gifts」のコンサートを開催しました。ゴスペルとは、賛美歌とアフリカ特有のリズムや音楽的感性が融合した癒しの音楽です。

入院患者さん、いしづち苑の入所者さん、職員合わせて約100名の来場がありました。会場いっぱいに響き渡る美しいハーモニーに、思わず涙ぐむ方もいらっしゃいました。1時間弱のコンサートではありましたが、秋の夜長に癒しの時間をいただきました。



ボサノバ・ライブが開催されました

医療秘書課 神原 勝己

みなさん、ボア・タルジ！
ブラジル語で「こんにちは」という意味です。

ブラジルは日本から1万8千キロ、地球の真裏にある国です。

こんな彼方の国で1人、ボサノバ歌手として活動している女性がいます。MAKOさんです。当院へは2006年に石井副院長の招きで最初のライブにお越し頂き2007年、2011年、そして今回で4回目。7弦ガットギタリストの山田“やーそ”裕さんや、ベーシストの沢田譲治さんもMAKOさんとともに7年の付き合いになります。

ステージが始まります。
MAKOさんの明るく伸びのある美しい歌声。
山田さん、沢田さんの心に響く弦の音。
曲の合間にはさまれる3人の愉快的トークに聞き手の心もほぐれてきます。



会場の外来ロビーは患者さんや一般のオーディエンスに溢れ、予想外の嬉しい混雑ぶりでした。

昨年、MAKOさんはテレビ局の取材を受け、複雑な心境を語っていました。番組の最後、アルバム制作に挑む決意を語った彼女のCDがいま手元にあります。何かを志すことは困難ですが、しかしその姿は周囲の人々を励まし、歌は聴く者を癒してくれます。

みなさん、また西条でお会いしましょう!!
チャオ!!





平成25年度 済生会学会・総会 永年勤続表彰

平成25年度の全国済生会総会は、10月27日(日)に東京国際フォーラムで行われ、当院からは下記の皆さんが永年勤続表彰を受けられました。長年のご労苦に感謝し、今後益々活躍して頂くよう期待致します。

勤続20年を迎えて

薬剤師 織田 佳人

子供のころ私は下町に住んでいた。「楠通り」はまだ舗装されておらず、「公園通り」にも通じていなかった。田んぼの中に通学路があり鶏舎などもあった。そんなのかな風景の中に一軒、白いポルシェ911のある家があった。車がとまっていることを期待しながらその家の前を通った。高校時代にソフトボールのクラスマッチがあり鷹丸グラウンドへ練習に出かけた。社会人らしいグループが練習しておりピッチャーは女性だった。ゲームをしようと誘われ、楽勝と高を括っていたら負けた。

当時は十数年後にグラウンドで声をかけてくれたおじさん達(当院の職員の方たちでした)の職場でお世話になること、ポルシェの家(病院の宿舎でした)に自分がお世話になることなど想像もできなかった。

入職から20年、自分を振り返ると未熟さしか感じない。今日までこの職場で仕事をさせていただいたことに感謝し、これからもご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

勤続10年を迎えて

診療放射線技師 日野 美紀子

この度勤続10年を迎えることができました。短大を卒業し、右も左もわからない私がかここまで成長できたのも先輩方のご指導のおかげです。この場をおかりしてお礼を申し上げます。

入職当時は7名だった技師もPET-CT、リニアックの導入など業務が多忙となり今では13名となりました。後輩が増え責任と年齢の重さを改めて感じる日々です。

放射線技師は患者さんと関わる時間は短時間ですが、その短い時間で少しでも患者さんに寄り添えるよう私なりに努めてきました。撮影室に入る時は苦痛の表情でも、出る時に笑顔で「ありがとう」と言っていたいた時には本当に心からホッとします。

今後も診療放射線技師として専門性の向上はもとより、他部門との調和を図り、チーム医療の一員として病院の医療をサポートしていけるよう努力したいと思います。

20年表彰者		10年表彰者	
薬剤師	織田 佳人	看護師	岡村 朱美
		看護師	近藤 栄二
		診療放射線技師	日野 美紀子
		主事補	渡部 亜美

済生会西条 特別養護老人ホーム オープニングスタッフ(介護職員)募集中!

「済生会西条特別養護老人ホーム」のオープニングスタッフ(介護職員)の募集を行っています。

経験がない方でも、キャリアパスが整備されておりますので、安心して働けます。

私たちと一緒に働きませんか?



平成26年度開設予定

採用担当：0897-55-5100(代表) 事務長 小野晃照

ピンクリボンキャンペーンについて

看護部長 大仲 道子



ピンクリボンキャンペーンとは、乳がんの早期発見と乳がん検診の大切さを伝える運動です。乳がんは、30歳代から増え、50歳代までの働き盛りの若い世代に多いです。ただし、早期発見、早期治療により、90%以上の方が治るといわれています。そのためには40歳になったら、

2年に1回の検診を定期的に行うことが大切です。

乳がんは乳房にある乳腺に発生する悪性腫瘍で、どんな人でもなる可能性がある病気です。乳がんと関係すると考えられる特に重要な危険因子は8つあります。

- 1、年齢40歳以上
- 2、30歳以上で未婚
- 3、初産が30歳以上(結婚経験がない人を含む)
- 4、閉経年齢が55歳以降
- 5、肥満(特に50歳以上、標準体重の20%以上)
- 6、良性の乳腺疾患(特に増殖性、異型を伴うものになったことがある)
- 7、家族(特に母、姉妹)に乳がんになった人がいる
- 8、乳がんになったことがある。



しかし、危険因子に当てはまる項目が少ないからといって、大丈夫とはいえません。乳がんの症状は、しこり、痛み、血液が混じったような分泌物が出る。乳首のただれ、皮膚のくぼみ、赤く腫れたり、オレンジの皮のように毛穴が目立つ、脇の下のしこり、など実にさまざま

です。そのため初期には全身の症状がないため、放置されやすいです。乳房の変化に気付かず放置しておくと、乳腺の外にがん細胞が増殖し、血管やリンパ管を通して全身へと広がっていきます。乳房のわずかな変化を見逃さないことが大切です。



乳がん検診にはマンモグラフィと超音波検査(エコー)があります。マンモグラフィは早期の乳がんも発見できる乳房専用のX線撮影のことです。X線の量はごくわずかで、被爆による危険性はほとんどありません。超音波検査は、人間には聞こえない音波を機械から発し、臓器に音をあてて返ってくる反射の様子を画像にするものです。超音波を出す器具を直接乳房に乗せて動かし、写し出された画像を見ながら診断を行います。数ミリの手に触れないしこりを見つけ出すことができます。放射線被爆を避けたい妊娠中の方、若年の方、乳房の圧迫に耐えられない方、強い乳腺症などで良好な撮影ができない方、頻りに検査をする必要のある方などに超音波検査が適しています。

ピンクリボンは乳がんの検診を受ける、早期発見の大切さを伝える「気づき」と「行動」のシンボルマークです。女性の皆さん是非、検診を受けましょう。



55
The 55th anniversary
済生会西条病院 開設55周年

済生会西条病院

開設55周年記念

市民公開講座

なお、会場の都合により事前申込み(予約)が必要です。◎全講座無料

第3回
講座

平成26年1月15日(水) PM3:00~

テーマ 「変形性膝関節症について」 ・中高年になって膝が痛むのはどうしてでしょうか?

講師 白形 陽生(副院長・整形外科部長)

会場 東予総合福祉センター(ほほえみプラザ)2階会議室

第4回
講座

平成26年3月12日(水) PM3:00~

テーマ 「糖尿病について」 ・笑って伸ばそう健康寿命! ~糖尿病をもっと知ろう~

講師 金子 由梨(内科医長)

会場 東予総合福祉センター(ほほえみプラザ)2階会議室

お問い合わせ・申し込み先: 済生会西条病院 社会福祉課 医療・福祉支援係

電話 (0897)55-5100 FAX (0897)55-6766 住所: 〒793-0027 西条市朔日市269番地1(済生会西条病院)